

地方長官会議における昭和天皇の「下問」と知事の「地方事情奏上」

— 地方新聞の関係記事の検討 —

竹 永 三 男*

はじめに

本稿は、昭和天皇の踐祚以降に開かれた地方長官会議の定例会において、ほぼ毎回実施された賜謁と陪食に際し、各知事が天皇に対して行つた管下の状況報告（「地方事情奏上」と、これを承けて昭和天皇が行つた「下問」の全容を明らかにするため、筆者が行っている地方新聞検索作業の中間報告である。

地方長官会議とは、内務省が主催する官選知事（ここでは北海道庁長官・府県知事を略して知事とする）の全国会議であり、その定例会とは、例年、四月から五月にかけて、帝国議会の通常会の終了後に開催されるものをいう。筆者は、この一〇年余、地方長官会議の歴史的
研究に取り組み、幾つかの論文を発表してきたが、かつてその概要を提示した明治天皇・昭和天皇の地方長官会議との関わりについて、¹⁾ 昨年来、改めてその全体像を究明する作業に取り組んでいる。この点で筆者が注目したのは、地方長官会議に出席した知事に対する慰労の意

をこめて行われた賜謁と陪食である。というのは、この賜謁・陪食に際し、明治天皇の場合も昭和天皇の場合も、天皇が知事に「下問」し、知事が天皇に管下の状況を報告すること（「地方事情奏上」）が行われたからである。この中、とくに昭和天皇の場合は、地方長官会議の定例会での知事の「地方事情奏上」が慣例となり、その中の幾人かの知事に対しては、天皇が「下問」し、当該知事がこれに「奉答」することが毎回みられたからである。

この知事による「地方事情奏上」と昭和天皇による「下問」の内容は、各府県の地方紙および全国紙の報道記事によつて明らかにすることができるとは、地方長官会議に際しての賜謁・陪食の報道に併せて、「地方事情奏上」と「下問」が行われたことが報じられるとともに、知事の談話（「謹話」）が掲載された。さらに、会議を終えて帰県した知事は、会議の要点と会議を承けての県政の課題を「帰来談」として語ることが常であり、その中で、賜謁・陪食の感激と「地方事情奏上」・「下問」について語っていた。筆者は、島根県に即して

* 島根大学法文学部教授

その検討を試みた後³⁾、これを全国に拡大し、天皇制の政治史的分析の視点から論じた。この中、後者に際しては、「下問」・「地方事情奏上」を報じた地方紙および全国紙地方版の関係記事を網羅的に提示し、別途発表したが、掲載誌の紙幅の制限からその全容を示す表は割愛せざるをえなかった。そこで、本稿で、その後に調査・検索した新聞記事を含めてこれを一覧提示し、地方長官会議における昭和天皇の「下問」と知事の「地方事情奏上」の全体像を表示することとする。ただし、その内容分析は、別途発表した前記の論文に譲り、ここではその特徴を述べるに止める。

一 昭和天皇に対する知事の「地方事情奏上」

【表1—①—⑩】は、地方長官会議に際して行われた、各府県知事の昭和天皇に対する「地方事情奏上」の概要を示したものである。

この表によれば、第一に、知事の「地方事情奏上」が慣例となるのは、一九三〇年五月会議からであるとみられる。この年は、「この度は侍従長を通じ地方長官に府県の産業状態その他につき奉答するやう御されたがあつた」（『東京朝日新聞』一九三〇年五月二三日）と報じられたように、事前に「産業状態」などについて「地方事情奏上」を行うように侍従長を通じて指示があつた。そして、それ以前は、次に示す長野県知事の例のように、拝謁した知事が自己紹介すると、その中の何人かに「下問」があり、これに対して知事が「奉答」する形で「地方事情奏上」が行われていた。

地方長官会議出席中の各府県知事は廿九日正午宮中豊明殿で御昼

餐の上千種の間にて珍田侍従長の外田中首相鈴木内相を従へられて臨御あそばされた聖上陛下から一同にそれ〴〵三府四十三県知事に対しその府県の各種の特色につき一々御指摘の上御下問があつたことは未だ曾て前例を拝さない宮中席次によらず思ひ〴〵順次御前に進んで「何々県知事で御座います」と申上げると即座に御下問ありたとへば新潟県知事に対しては「雪害はどうだつたか小作問題は如何」とかまた大阪府知事には「財界の安定模様モラトリアムの影響は……」とか奈良県知事には「水平社問題は如何か」とて御下問がきわめて深刻である私もわずかに四尺をはなれた議席の間に進み出で「長野県知事千葉了でございます」と申上げると即座に「警廃事件の後は何うだ」と予期しなかつた御下問を賜つたことは誠におそれ多い次第であつて私は其後民心が安定してある旨を奉答した……

（『信濃毎日新聞』一九二七年六月三〇日夕刊）
第二に、慣例化された「地方事情奏上」の主題は、次に掲げた新聞報道から知られるように、各知事の独自の判断によって選択されたものであつた。

（午餐・茶菓の）直後千種間で特に単独拝謁の光栄を得ましたが、その際県下の事情につき言上せよとの御内意があつたので私からは県下の産業状態並に県民が極めて質実剛健敬神崇祖の念に厚いことを言上し今秋の大演習には親しく聖駕をお迎へすることゝて県民は一日千秋の思ひで御待ち申し上げてある旨を奏上し県下一般の事情についてはその節詳細に叡覧ありたき旨を申し上げたところ畏くも陛下には今秋は色々厄介になることであらうがどう

か在りのまゝで迎へてほしいとの有難き御誼を拝し私はこの尊い大御心に感泣して退下致しました

〔大阪朝日新聞附録九州朝日〕熊本版 一九三一年五月三日

県としては特に奏上することもないので時局匡救事業の実施に就て申し上げその効果も非常に挙つて県民も喜んでゐる旨を言上致しました長時間に亘り各地方長官より奏上する地方政情を一々御熱心に聞き召される御精励の程は真に有難い極みであると感激に堪えませぬ

〔海南新聞〕一九三三年四月二二日夕刊

一般県治についてはすでに前の機会に奏上致しましたしその後格別の変化もないので今回は差し控へ本日は特に県下の産業状態につき上聞に達しました

〔大阪朝日新聞附録九州朝日〕長崎版 一九三三年四月二三日

県下の一般状況に就ては一昨年行幸の際御承知のこと、考へ言上を差し控へ本日は特に阿蘇山の噴火状況につき上聞に達しました

〔大阪朝日新聞附録九州朝日〕熊本版 一九三三年四月二二日

私は昨年七月の長官会議のとき同じく御陪食の際県下の金融恐慌につき言上致しましたので本日はその後の経過につき上聞に達しました

〔大阪朝日新聞附録九州朝日〕宮崎版 一九三三年四月二三日

そして第三に、奏上事項はまた、時期によつて変化し、戦時体制下では、食糧増産・軍事援護事業・防空演習などが中心となつていった。

二 昭和天皇の「下問」事項

一九二七年六月、踐祚後、天皇としては初めての地方長官会議を迎えた昭和天皇は、知事の賜謁に際して、意識的・意欲的に「下問」を行つた。そして、一九三〇年代に入ると、各知事の「地方事情奏上」を受け、その中の幾人かに対して、奏上事項に関連して、または自身の関心に従つて、当該知事に「下問」することがあつた。【表2-1①】、⑩は、その概要を一覧表示したものである。ここから分かるように、「下問」の主題は、第一に、政治・社会運動・思想問題、第二に、軍事援護事業・戦争動員に關すること、第三に産業・経済問題、第四に教育・文化問題、第五に天皇の「仁慈の発露」を示すものなど、多岐にわたつていた。本稿では、この中、長野県知事、奈良県知事、京都府知事に対する「下問」に注目しておきたい。

第一に、長野県知事に対しては、前述の一九二七年五月会議で「警廃事件」のその後について「下問」したのに続き、思想問題・教育問題について繰り返し質している。

陛下には特に本県に付いて県下の普通教育はどうかと御下問がありましたこれは本県が教育県といはれて居るのでこの様な御下問があつたのだと拝察致しますそれに引続いて青年訓練所の成績はどうか左傾思想が盛んだといはれて居る地方は寧ろ教育の成績が良好な状態にある長野県民は口達者であるけれども実行力に於ても非常に富んで居ると御言葉がありました私の方からも県下の普通教育青年訓練所に関する状況を御答へ申上げ外に一言言上申上げましたそれは地方長官会議中内務大臣から屢々陛下の御聖徳に

付いて承つて非常に感激に堪へない次第で将来も県民と力を合せて御聖徳の万分の一にも御答へ致したいと存じますと申し上げますたがこの有難い御下問には只々恐懼の外はありませんでした

〔信濃毎日新聞〕一九二九年六月一八日

右の二つの事項（蚕糸業の現状と満州移民。竹永注）に付き奏上致しました処陛下には畏くも県民の思想傾向はどうかと御下問ありました昭和八年教育界の不祥事件をなおも御軫念あらせられての御下問と拝察恐懼の至りに堪へませんでした、事件以来教育界は勿論官民一致し思想の善導教育の振興に努めました結果幸ひに今までの観念論的風潮は是正され今では思想傾向も大地に足が付き堅実になつて禍ひ転じて福となす事が出来ました；唯だ遺憾なことは一昨年暮農村青年社事件に長野県も十数名の連累者を出しました事は本県と致しまして愈々自戒自肅一層堅実な教育を徹底せしむると共に思想の善導に愈々意を致し聖慮に対へ奉りたいと御答へ致しました（『信濃毎日新聞』一九三七年五月一八日）

その一方、奈良県知事に対しては、小作争議とともに、水平運動・融和運動について「下問」を重ねている。

聖上陛下が吾々地方長官を召してその府県に特種な問題につき一々御下問を賜はつたといふやうなことは全く前例がない、殊に奈良県に対しては近年熾烈を加へてをる小作争議並に水平社運動についてお尋ねがあつたので自分は恐懼してその現状をつぶさに奉答申上げておいたのであるが県下における小作争議がそれほど大御心を悩まし奉つてをるかと思ふとまことに恐懼措くところを知らないの直接御下問を受けた自分は元より県民一同にもこの趣を

伝へて協同して大御心を安じ得るやう努力したいと思つてをる

（東京電話）（『大阪朝日新聞（大和版）』一九二七年七月一日）

なほ本県におきましては大正十年ごろよりはゆる水平運動が全国に魁けて行はれ、昭和の初めごろまで宸襟を悩まし奉り恐懼に堪へざるところでございましたが、最近県民一般の理解によりかゝる忌はしき事態は殆どその跡を絶つにいたりましたのみならず県内融和団体として従来からありました大和同志会もいはゆる新体制運動の進に伴ひましてさる三月無条件解消を決議し、その善後措置を知事に一任するなど内部的にも県民一般もその自覚を昂めつゝありますので将来は真に国民融和の実をあげ得るものと信じてゐる旨を奏上致しました

（『朝日新聞（奈良版）』一九四一年四月九日）

いずれの場合も、昭和天皇が、政治・社会運動、思想問題についての強い関心と、これらの問題についての各府県ごとの実情に具體的的確な知識をもっていることを示している。

第二に、一九三九年五月会議での京都府知事に対する「下問」では、日中戦争が全面化した後の戦局の推移と景気との関連を、知事の「地方事情奏上」事項に対する疑問に基づいて確認しようとしていることが見てとれる。

昨年武漢三鎮陥落も終り漸く西陣或は丹後縮緬方面に対して一時急激なる活況を見ましたその後再び平調に戻りましたので今後なほ一層企業の合理化を計りまして事変下におきまする府内平和産業の健全なる発展を致さしめるよう万全の努力を致す覚悟でありまする事を言上致しました所陛下には畏くも武漢三鎮攻略後どん

な理由で急に景気がよくなったのかとの御下問を拝しましたので私は謹んで軍需工業関係を主としてゐる殷賑部門の好景気、それと武漢陥落といふ一種の精神的な好影響とが重なつて一時的な変態的な好景気の波が来たものと拝察致しますと恐懼奉答したが、大御心のほど畏き極みでございます

〔京都日出新聞〕一九三九年五月三日

「地方事情奏上」によつて「銃後」の行政・経済・社会・教育の全般的・全国的情報を、各府県の具体的事例に即して把握していた昭和天皇は、これら国内情勢を戦局と関連づけて捉えることが可能であり、かつそれを実践していたのである。

おわりに

地方長官会議における昭和天皇の「下問」と知事の「地方事情奏上」の全容を正確かつ全面的に明らかにするためには、地方紙・全国紙地方版の関係記事の悉皆検索を進める必要がある。本稿はその中間報告であるが、ここで示した【表1】【表2】によつてみても、その概要は明らかであろう。そこには先に行つた報告で論じたように、昭和天皇の主體的・能動的な君主意識が明確に現れている。このような主體的・能動的な君主としての昭和天皇の前で列立拝謁し、その「光栄」に恐懼した各府県知事は、帰県後、その「帰来談」を通して自身の「光栄」を府県民に分与するとともに、会議で指示され、協議した事項の実践に努めることになる。昭和天皇への全国各府県における行政・経済実態に関する具体的情報の集中とともに、府県知事の政策課題に対

する自覚を喚起し、その実践を懲慙するという点に、地方長官会議に際しての昭和天皇の「下問」と知事の「地方事情奏上」の意味があると言えよう。

(1) 次ページ所掲の筆者の既発表論文①②③④⑤⑥

(2) 明治天皇については、既発表論文①、昭和天皇については同②。

(3) 二〇〇四年度島根史学会大会報告(二〇〇四年二月二四日、島根県民会館)

(4) 二〇〇五年度大阪歴史学会大会近代史部会個人報告(二〇〇五年六月二六日、関西学院大学)。

(5) 既発表論文⑥

(6) 本稿で利用した新聞とその略記法は次のとおりである。

北海道 『北海道新聞』(二部)〔道〕と略記。以下同じ)

宮城県 『河北新報』〔河〕

東京府 『東京朝日新聞』(↓)『朝日新聞』(東京)〔東朝〕

長野県 『信濃毎日新聞』〔信〕

愛知県 『新愛知』(↓)『中部日本新聞』〔新愛〕

石川県 『北国新聞』(↓)『北国毎日新聞』〔北〕

京都府 『京都日出新聞』(↓)『京都新聞』〔京〕

大阪府 『大阪朝日新聞』(↓)『朝日新聞』(大阪)〔大朝〕

奈良県 『大阪朝日新聞(奈良版・大和版)』〔朝大〕〔朝奈〕〔奈良新聞〕〔奈〕

新聞〔奈〕

和歌山県 『大阪朝日新聞(紀伊版)』〔朝紀〕『大阪朝日新聞(和

歌山版)』〔朝和〕

地方長官会議における昭和天皇の「下問」と知事の「地方事情奏上」

兵庫県 『神戸新聞』〔神〕

島根県 『大阪朝日新聞(山陰版)』〔朝山〕、『山陰新聞』(政友系)

〔山〕 『松陽新報』(民政系) 〔松〕

岡山県 『山陽新報』〔山陽〕 『合同新聞』〔合同〕

愛媛県 『海南新聞』〔海〕 『愛媛合同新聞』〔愛合〕 『愛媛新聞』

〔愛〕

福岡県 『福岡日日新聞』〔福〕 『西日本新聞』〔西〕

鹿児島県 『鹿児島新聞』(↓ 『鹿児島日報』) 〔鹿〕

九州・沖縄各県 『大阪朝日新聞附録九州朝日』(全九州版及び各

県版) 〔九朝〕

上記各紙の中、全国紙は、時に各回の「地方事情奏上」と「下問」の全容を報じることがあるが、その内容の詳細までは伝えてはいない。一方、地方紙の中には、隣接県の知事の「地方事情奏上」と天皇の「下問」を詳細に報じるものもある。このため、全国の全ての道府県についてこれを明らかにするためには、地方紙と全国紙地方版の悉皆調査が必要である。この点で、本稿は、この主題についての中間報告に止まるものであるが、大方の特徴は明らかにすることができる。

なお、これらの新聞の検索に際しては、日本新聞博物館新聞ライブラリー、国立国会図書館、石川県立図書館、京都府立総合資料館、大阪府立中之島図書館、奈良市史料保存館、和歌山県立図書館、尼崎市立地域研究史料館、島根大学附属図書館のお世話になった。記して御礼を申し上げる。

〔地方長官会議関係既発表論文〕

- ① 「地方長官会議に関する覚書」宮川秀一編『日本史における国家と社会』思文閣出版、一九九二年
- ② 「近代日本における中央・地方・地域―地方長官会議、同郷会・同郷人雑誌を素材として―」朝尾直弘教授退官記念会編『日本社会の史的構造 近世・近代』思文閣出版、一九九五年
- ③ 「原敬と地方長官会議―日露戦後における地方長官会議の確立―『社会システム論集』(島根大学法文学部) No.1、一九九六年
- ④ 「第二次大隈重信内閣期の地方長官会議小考」『部落問題研究』第一六七輯、二〇〇四年
- ⑤ 「地方長官会議と部落問題」『部落問題研究』第一七二輯、二〇〇五年
- ⑥ 「昭和天皇と地方長官会議―『下問』と『地方事情奏上』の分析―」『ヒストリア』一九八号、二〇〇六年

【表1-①】知事の地方事情奏上・下問に対する奉答（1927・1928年）〔未定稿。以下【表2-⑩】まで同じ。〕
 （下問→）：下問に対する奉答事項。（→下問）：所掲の地方事情奏上について下問があったことを示す。

	1927年6月25日	1928年6月20日
北海道庁		
青森県		
岩手県		
宮城県		
秋田県		
山形県		
福島県		
栃木県		
群馬県		
茨城県		
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京府		
警視総監		
山梨県		
長野県		（下問→）共産党検挙者13名、県民思想健全 [信]
新潟県		
静岡県		
愛知県		
岐阜県		
富山県		
石川県	（下問→）下賜金の御礼、消失区域の復興 [北]	（下問→）県下の教育状態 [北]
福井県		
三重県		
和歌山県		
奈良県	（→下問）小作争議・水平社運動の状況 [朝大]	（→下問）古蹟・古美術保存施策効果少し [朝大]
滋賀県		
京都府		
大阪府		
兵庫県		川崎造船所の経過と近況、社外船葬儀の経過 [神]
鳥取県		
島根県		
岡山県	「陛下が御播種下された樹苗かよく伸びて居ります」 [山陽]	
広島県		
山口県		
香川県		
徳島県		
愛媛県	（下問→）新興産業は養蚕・製糸、別子銅山は堅実、労使円滑 [海]	（下問→）県民が冷静故、産業は順調に進んでいる [海]
高知県		
福岡県		（下問→）畜田の稲の状況 [福]、鉱山での労使協調の現状 [九朝]
佐賀県	（下問→）農業県故に食糧問題は楽な県、陶磁器の生産 [九朝]	
長崎県		
熊本県	（下問→）補習教育・青年訓練で好成績をおさむ [九朝]	（下問→）罹災民の復旧状況 [福]
大分県		
宮崎県		
鹿児島県		（下問→）大島島民の精神作興、産業振興、知事の視察 [九朝]
沖縄県		

【表1-②】知事の地方事情奏上・下問に対する奉答（1929・1930年）

	1929年6月17日	1930年5月22日
北海道庁		
青森県		
岩手県		
宮城県	(下問→) 産業組合下の農業倉庫・乾繭組合 [河]	米作・白菜作況、産馬状況、塩釜築港、馬術の今村少佐 [河]
秋田県		
山形県		
福島県		
栃木県		
群馬県		
茨城県		
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京府		失業者救済事業 [東朝]
警視総監		
山梨県		
長野県	(下問→) 普通教育・青年訓練所の状況 [信]	生糸生産高・産業組合運転資金は全国一 [信]
新潟県		米作成績、地主小作関係、花卉栽培 [東朝]
静岡県		(下問→) 天皇の趣旨に沿って行幸準備、県民待望 [新愛]
愛知県		高松宮の碧海都視察、山崎延吉講演 [東朝] 毛織物業の進歩 [新愛]
岐阜県		三大河川に関する県治方針、犀川事件を再現せぬよう [新愛]
富山県		売葉のメキシコ販路開拓、伏木港改善、水力利用で工業化 [新愛]
石川県	(下問→) 「能登産業八十四銀行支店の救済整理」 [北]	天候条件による結核死亡率全国一対策 [北]
福井県		織物業と人絹の発達、製糸など新興産業状況 [新愛]
三重県		伊勢神徳による国民精神作興、農会・婦人団体活動 [新愛]
和歌山県	(下問→) 行幸をうけての県民の感激 [朝紀]	行幸満一年の県民の光栄、県下の産業状態 [朝和]
奈良県	(→下問) 融和促進に努力、融和促進歌の活用 [朝大]	「少数部落の融和改善」困難だが進捗 [朝大]
滋賀県		琵琶湖小鮎の他県移出状況 [京]
京都府	(下問→) 大式場拝観者で殷賑呈す [京]	時局の西陣織工場への影響 [京]
大阪府	行幸に対して府民感激 [大朝]	
兵庫県	神戸行幸の御礼 [神]	行幸歓迎、産業状態、外国人状況 [神]
鳥取県	(下問→) 千代川ほかの改修工事状況 [朝山]	林業・農業・漁業等での県民の勤働、砂丘利用計画 [山陽]
島根県	(下問→) 実業教育の現状と将来の計画 [朝山]	稲の多収穫の努力 [朝山]
岡山県	(下問→) 済生顧問制度の状況、他県比較、将来計画 [山陽]	行幸待望、「聖駕奉迎、岡山県生物採取総動員」の取組 [山陽]
広島県	(下問→) 養殖・遠洋漁業の状況、金融では貸出超過 [山陽]	海外移民の現状、ゴム製品の南洋方面輸出の努力 [山陽]
山口県		
香川県	(下問→) 小作争議は「よい方」に向い本年度は問題なし [山陽]	昨年来の小作争議の減少 [大朝]
徳島県		
愛媛県		養蚕・製糸・織物・農業・林産業・水産業等が円満に発達 [海]
高知県	(下問→) 森林の一般状況、二期作実績 [山陽]	水産業の現況、漁港設備の改善 [山陽]
福岡県		北九州工業地帯連繋5市の工業発展策と海陸交通 [九朝]
佐賀県		
長崎県	長崎港と対中貿易の関係、(下問→)対馬・壱岐島民の生活・交通状態、気候風土 [九朝]	政府の外客誘致策に応え雲仙の整備で遊覧機能発揮を計画 [九朝]
熊本県	(下問→) 県下の教育状態 [九朝]	水稲晩化栽培研究実績、養蚕業、肥後の質実剛健の気風 [九朝]
大分県	(下問→) 農業の発達、セメント工業・竹製品工業の勃興 [九朝]	農業状況、大分築港拡張の必要、国立公園設置で外客誘致 [九朝]
宮崎県	(下問→) 原野開墾により農業の将来は有望 [九朝]	
鹿児島県		人物の養成、農家収入の増加、大島の財政救済への努力 [九朝]
沖縄県		沖縄疲弊対策としての研究に基づく県情に適した産業振興 [九朝]

【表1-③】知事の地方事情奏上、下問に対する奉答（1931・1932年）

	1931年5月2日	1932年7月20日
北海道庁		(下問→) 凶作の後始末 (→下問) 東朝
青森県		
岩手県		
宮城県	海外移民状況、種蠟輸出状況 河	農漁村の窮乏、紫雲英の栽培増殖 河
秋田県		
山形県		
福島県		
栃木県		
群馬県		
茨城県		
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京府		
警視総監		
山梨県		
長野県	県下の副業の状況について 信	桑園の土地利用推進、繭生産方法の安価化 信
新潟県		
静岡県		(下問→) 世界的不況の余波に対処急策・恒久策で努力 新愛
愛知県		水害見舞御礼、農漁村及び産業状況 新愛
岐阜県		大半が山村で経済的窮境の中でも、納税成績は良好 新愛
富山県	売薬の沿革と現状、売薬展覧会開催計画	
石川県	(下問→) 九谷焼の沿革・状況 北	九師出征後の後援事業、軍人凱旋 北
福井県	気候・家屋による健康不良、癩療養事業	農山漁村不況状況、漁山村の窮乏 北
三重県		
和歌山県	山村地方の疲弊状況とその対策 朝和	
奈良県	一般不況、山間部の山林労働者窮乏 朝奈	
滋賀県		経済界不振に対し機宜を誤らぬよう努力 新愛
京都府	京都市の合併、(下問→) 新田市民の融和 京	大演習の際の桃山陵親拝を府民は待望 京
大阪府		
兵庫県		対中国貿易不振、自力更生運動 神
鳥取県	水害対策努力、綿の栽培、牛の牧畜 松	
島根県	石州瓦・養鶏・酒・果樹とその販売 松	不況状態について 山
岡山県	寄生虫(肝臓ジストマ)の撲滅努力 山陽	満州事件・上海事件で使命を自覚せる青年団とその助長 山陽
広島県	県下沿岸・島嶼の柑橘栽培について 山陽	
山口県		
香川県	農業試験所および農業経営の状況 山陽	
徳島県		
愛媛県	四坂島煙害問題の改善状況、鉱山業と農林業の互諒妥協 海	農山漁村と都市中小商工業者の疲弊について 海
高知県		
福岡県		農村疲弊は東北ほどでないが炭坑地としての特殊事情あり 九朝
佐賀県	青年団・農業団体を動員しての裏作の普及奨励等 九朝	
長崎県		
熊本県	県下産業状態、県民気風、今秋大演習での来県を待望 九朝	
大分県		
宮崎県	開田事業、石井十次の茶臼原開拓治績 鹿	日向興業銀行新設と勸業資金融通 鹿
鹿児島県	行幸待望、報徳会奨励、鹿児島県式体操 鹿	農家の生産物換金上の地理的不便宜 鹿
沖縄県	県産業の課題、土地変更状況と将来展望 鹿	

【表1-④】知事の地方事情奏上、下問に対する奉答（1933・1934年）

	1933年4月21日	1934年5月8日
北海道庁		函館大火見舞い御礼、函館復興計画 [東朝]
青森県		
岩手県		
宮城県	時局匡救事業施行状況、農村衛生救護、三陸震嘯災見舞御礼 [河]	
秋田県		
山形県		
福島県		
栃木県		
群馬県		
茨城県		
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京府		皇太子誕生記念少国民精神善導の国史絵画館建設計画 [東朝]
警視總監		
山梨県		
長野県	恩賜医療救護事業・農村救済事業の効果、糸価安定 [信]	産業経済の一般情勢、小学校教員事件善後策、村塾設立状況 [信]
新潟県		
静岡県		
愛知県	農産物価格と鶏卵などの海外販路、鉄兜献金 [新愛]	(健康状態不良のため参内せず) [新愛]
岐阜県	休業銀行3行開店、工業組合普及、商業組合成立など [新愛]	
富山県	思想穩健理由(「立山の御歌」、対岸貿易振興の為飛行場開設 [北]	飛行場新設と活用方針(産業・国防)、県営電気事業 [北]
石川県	小松火災見舞御礼、演習行幸待望、輸出絹業、軍事援護事業 [北]	結核撲滅方針 [北]
福井県	演習行幸待望、昨夏下賜金による医療救護事業と衛生状態 [北]	演習行幸後の県情、恩賜救療事業、中学校状態、博物学界 [北]
三重県	神宮参拝者著増、聯盟脱退趣旨徹底、経済更生に尽力 [新愛]	(下問→) 赤潮と真珠被害及び対策。神宮参拝者増加 [新愛]
和歌山県	近年の地震多発に鑑み、災害防止研究と津波防止対策 [朝和]	
奈良県		産業全般、金剛砂・水銀採掘と冶金術 [朝奈]
滋賀県	県民性の優越長短、社会教育、(近江神宮の) 建立計画 [新愛]	
京都府	(下問→) 新興産地に押され西陣織不振だが努力中 [京]	1月8日京都駅惨事見舞下賜金御礼、原因と状況 [京]
大阪府	日印通商条約廃棄による大阪の打撃について [大朝]	
兵庫県	神戸港の貿易状態、満州国承認後の貿易 [神]	神戸港の貿易、日蘭貿易、但馬の雪害(→下問)沿海州漁場 [神]
鳥取県		因幡牛の牧畜の現状と施設計画、砂防林の施設 [山陽]
島根県		後醍醐天皇の事蹟・旧臣功績者顕彰、富山村の更生運動 [松]
岡山県	非常時の県民の各業での努力、県民の国際的関心と自覚 [山陽]	自力更生で産業改革、県民は思想的に落ち着き時局認識 [山陽]
広島県		日清戦争大本営跡の顕彰、移民につき米領事夫妻に感謝 [山陽]
山口県		
香川県	狭小な県土での農業・水産業の状況と県民の貯蓄心 [山陽]	大正11年「御手植松」の成長、昭和6年御野立所に植林 [山陽]
徳島県		
愛媛県	特に奏上することなき故、時局匡救事業の実施について [海]	
高知県		
福岡県	地方医療救護のための内帛金を無医村対策等に活用 [九朝]	戴勅語伝達式状況、小学校教員精神作興大会、互助会設立 [九朝]
佐賀県	葉隠論語・鍋島論語精神による満州事変後の人心作興状況 [九朝]	
長崎県	県民一致の努力で産業振興し、農工商の生産額増加 [九朝]	
熊本県	一昨年大演習時には平穏だった阿蘇山の噴火状況 [九朝]	
大分県		
宮崎県	銀行整理、新銀行設立など金融恐慌後の経過 [九朝]	移住者増加、工場設置、3市発展、神武東遷2600年大祭 [鹿]
鹿児島県	匡救事業の効果、部隊出動で人心緊張、大島振興(→下問) [九朝]	大島振興計画が着手されるに至ったこと [鹿]
沖縄県	沖縄振興の努力(→下問)、医療救護内帛金への御礼 [九朝]	暴風雨被害と救済の状況、沖縄振興計画 [鹿]

【表1-⑤】知事の地方事情奏上、下問に対する奉答（1935・1936年）

	1935年5月3日	1936年6月15日
北海道庁		
青森県		
岩手県		
宮城県	御下賜御礼、郷倉建設計画、備荒田設置 [河]	
秋田県		
山形県		
福島県		
栃木県		
群馬県		
茨城県		
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京府		
警視總監		
山梨県		
長野県	「養蚕専業主義経営機構」改善、(下問→) 2.4事件 [信]	経済更生運動と教員の役割、満州移民成績 [信]
新潟県		降雪被害の概況と対策 [新愛]
静岡県		清水震災下賜金の御礼、茶況、漁業・養蚕業の発展 [新愛]
愛知県	昨年中の名古屋港の輸出躍進、工業発展と織物業 [新愛]	農村の自力更生と養蚕の好転、軍需工業と貿易の進展 [新愛]
岐阜県	三大河川改修問題の経過と現況、大垣の工業発展 [新愛]	
富山県	下賜金御礼、水害善後措置、工業振興・貿易計画 [北]	水力電気事業とその展望、治水策確立 [北]
石川県	手取川災害復旧工事の進捗状況、(下問→) 宗教の好影響 [北]	防空演習成績、米作成績、結核対策、禁酒実績 [北]
福井県		
三重県	神宮参拝者の状況、宇治山田神都計画、県下産業 [新愛]	
和歌山県	風潮防備林(海岸林)の魚附林・防風林としての効用 [朝和]	天皇が潮岬を詠んだことに御礼、県漁民のアラフラ海出漁 [朝和]
奈良県		産業状況、史蹟と国民精神作興事業 [朝奈]
滋賀県		一般県民衛生の概要、北部の雪害、人絹工業生産増 [新愛]
京都府	(下問→) 丹後縮緬の復旧、社寺も復旧中 [京]	風水害前後措置、大本教行政処分 (→下問) [京]
大阪府	昨年風水害の復興事業、楠公精神による民心作興 [大朝]	軍需工業・外国貿易、農村問題対策、朝鮮人状況、教育建直し [大朝]
兵庫県	風水害救恤感謝、神戸港貿易、楠公六百年祭と教化 [神]	観艦式期待、阪神・播磨繁栄、阪神水道計画、但馬地方民困窮 [神]
鳥取県		因伯牛と廿世紀梨の盛んなこと [山陽]
島根県	災害復旧状況、大阪一大社間の急行開設 [松]	交通不便で産業未発達故、近代的産業の発達に尽力 [松]
岡山県	昨年風水害の復興状況、県民貯蓄増加、多角農業発展 [山陽]	産業・思想傾向の概略、社会事業家アタムス女史叙勲御礼 [山陽]
広島県	広島県(師団・鎮守府)と満州国との関係、産業振興状況 [山陽]	
山口県		
香川県	昨年の風水害被害救済、満州国皇帝来訪行事 [山陽]	認知赴任前故、県民と協力して聖旨にそう覚悟を言上 [山陽]
徳島県		
愛媛県	災害救恤の御礼、災害善後措置、本年の稲作状況 [海]	農地不足による工業・移民奨励の必要 [海]
高知県		
福岡県	旱害後の状況、北九州工業と合併運動、戸畑港、小倉工廠 [九朝]	
佐賀県	多久聖廟・楠神社、中学生の陸海軍人志願多数、産業開発 [九朝]	
長崎県		
熊本県		
大分県	小学校教員への勅語奉読式状況、昨年の旱害被害状況 [九朝]	
宮崎県	大演習来県歓迎、神武東遷2600年祭の好影響、旱害被害 [九朝]	
鹿児島県	大演習行幸鶴首、旱害被害軽微、大島振興進捗状況 [九朝]	
沖縄県	昭和5、6年以後の県下一般事情の経過 (→下問) [九朝]	

【表1-⑥】知事の地方事情奏上、下問に対する奉答（1937・1938年）

	1937年5月17日	1938年5月2日
北海道庁		
青森県		
岩手県		
宮城県	東北振興の現状と課題、第二師団への県民協力 [河]	
秋田県	尾去沢事件、経済界及び石油採油状況、県民経済状況 [河]	
山形県	秩父宮米御礼、恩賜郷倉、農村工業、保健衛生、満州移民 [河]	
福島県		町村吏員不足から遺家族扶助事業実行に困難を感じる [河]
栃木県	渡良瀬川の鉍毒、養蚕業の過労問題 [新愛]	
群馬県		
茨城県		
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京府		
警視総監		
山梨県		海外移民の祖国愛と献金状況 [福]
長野県	蚕糸業の現状、満州移民の状況、青年の満州移民熱 [信]	蚕糸業依存から脱却方策、農業多角化、経済更生運動 [信]
新潟県		長期戦の覚悟、農業好況と小作争議減少、隣保共助 [新愛]
静岡県		
愛知県	農山漁村の経済状態、名古屋港の貿易状態 [新愛]	軍事援護、銃後組織、産業・貯蓄状況、国民精神総動員現状 [新愛]
岐阜県		銃後援護状況、(下問→)南京陥落後の持久戦対処 [新愛]
富山県		
石川県	美術工芸品、織物工業、農村工業化、(下問→)結核対策 [北]	軍事援護事業、県下産業の状況 [北]
福井県		
三重県	神都計画の完成に尽力 [新愛]	
和歌山県	トルコ軍艦遭難兵士の墓地改造、弔魂碑建立、慰霊祭 [朝和]	海外移民の状況、(下問→)山村状況好転、伐採跡地植林 [朝和]
奈良県	紀元二千六百年記念事業準備、皇太后奉迎準備状況 [朝奈]	橿原神宮拡張、銃後事業、体位向上と中学入試廃止 (→下問) [朝奈]
滋賀県	琵琶湖開発の研究と治水に努力 [京]	近江神宮造営、銃後施設・遺家族援護 [京]
京都府	今年は災害なく観光客増加、農業順調 [京]	(下問→)風水害復旧状況、平安神宮奉讃会、事変内帑金御礼 [京]
大阪府		事変下銃後の援護事業、事変の大阪経済界への影響 [大朝]
兵庫県	商工業の概要、農村更生運動の効果、(下問→)労働問題 [神]	軍事援護事業、各種産業の概況 [神]
鳥取県	癩予防協会発会と我が国初の試みとしての無癩計画 [合同]	軍事援護の状況と産業の実情・油田試掘について [松]
島根県	敬神崇祖の風、三隅神社・隠岐神社創設計画、新米献穀 [朝山]	軍事援護の状況について [松]
岡山県	農山漁村経済更生の概要、県民性の長短、感化事業 [合同]	
広島県	軍都として大本営跡の状況、軍の送迎事業、赤十字 [合同]	
山口県		
香川県	溜池の改善修理による耕地増加 [合同]	
徳島県		
愛媛県	負債整理など農村の更生状態 [九朝]	銃後の遺家族扶助、生業関係、帰還将兵の思想・言動 [海]
高知県		
福岡県		軍事扶助の状況、工業・鉱山の好況の農村、中小業者波及 [福]
佐賀県		
長崎県		
熊本県		
大分県		
宮崎県	経済更生運動の好成績、高城町の貯蓄・納税好調 [鹿]	
鹿児島県	製茶と柑橘類奨励、甘藷無水酒精工場設置の影響 [鹿]	
沖縄県	県外交通機関、放送局設置予定、米自給の必要 [鹿]	県民の時局認識遅れ対策、事変円満解決希望、標準語教育 [鹿]

【表1-⑦】知事の地方事情奏上、下問に対する奉答（1939・40年）

	1939年5月2日	1940年5月2日
北海道庁		
青森県		
岩手県		
宮城県		
秋田県		
山形県		
福島県		
栃木県		
群馬県		
茨城県		
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京府	(下問→) 精動で貯蓄奨励・消費節約効果少なきを憂う [北]	
警視總監		
山梨県		
長野県	更生運動強化、産業報国、繭・米・麻増産 [信]	食糧・肥料問題、部落常会運動、(下問→) 植林ほか [信]
新潟県		
静岡県		
愛知県	経済・産業状況、名古屋帝大創設、熱田神宮新都計画 [新愛]	農工商業の発展状況と将来の指導方針 [新愛]
岐阜県		
富山県		
石川県	金箔・陶磁器産業等の転業問題、県民保健 (結核) [北]	雪害・水害の実情と対策、結核撲滅施策 [北]
福井県		
三重県		
和歌山県	柑橘害虫の矢ノ根貝殻虫の駆除、森林保護育成 [朝和]	植林、木炭増産、炭焼きの生活状態 [朝和]
奈良県	紀元二千六百年奉祝事業、建国奉仕隊の活動 [朝奈]	橿原神宮の近状 [朝奈]
滋賀県		
京都府	武漢・三鎮陥落で西陣・丹後縮緬が活況 (→下問) [京]	行幸歓迎、平安神宮の造営修理、管内状況 [京]
大阪府		日常生活物資の状況、大阪港の貿易状況 [大朝]
兵庫県	昨年の災害復旧、神戸港の貿易、工業生産状況 [神]	神戸・阪神・播州の工業発展、三部制廃止 [神]
鳥取県		
島根県	産業の現状と銃後の生産の維持増進、後鳥羽天皇の事 [朝山]	木炭増産・パルプ資材割当達成 [松]
岡山県	軍事援護事業、農山村の事変後改善せる現況、貯蓄奨励 [合同]	戦時下の地方行政運営の実情と市町村長の役割増大 [合同]
広島県		旱害対策、労力・肥料対策、宇品開港記念式 [合同]
山口県		
香川県		米麦作況、米穀需給の状況・節米と県民の自彊自励 [合同]
徳島県		
愛媛県		米不足対策、果実栽培、林産品の満州等輸出、新居浜工業等 [海]
高知県		
福岡県		
佐賀県		
長崎県		
熊本県		
大分県		
宮崎県	2600年奉祝事業、政党解消、農業振興 [鹿]	
鹿児島県	風水害復興、青年学校状況、(下問→) 大島振興 [鹿]	農水畜産の生産拡充 [鹿]
沖縄県		

【表1-⑧】知事の地方事情奏上、下問に対する奉答（1941・1942年）

	1941年4月8日	1942年月3月3日
北海道庁		
青森県		
岩手県		
宮城県	昨年下問受け、帰県後無産米増産に努力 [河]	昨年災害連続後の復興努力 [河]
秋田県		
山形県		
福島県		
栃木県		
群馬県		
茨城県		
千葉県		耕地の模様と排水事業について [東朝]
埼玉県		産業事情、帝都隣接県としての食糧増産 [東朝]
神奈川県		
東京府	四月一日実施の米の配給機構について [東朝]	生活必需物資の配給状況について [東朝]
警視總監	経済警察と国民生活の関係について [東朝]	戦時下帝都の防空について [東朝]
山梨県		
長野県	満州分村移民の状況・効果、青少年義勇軍父兄会の活動 [信]	桑園整理と食糧増産の成績 [信]
新潟県		
静岡県		
愛知県	農業増産・肥料対策、中小工業対策、県政三部制の撤廃 [新愛]	米麦増産、重工業方面の労務者対策、(下問→) 翼賛議会の構成に邁進 [新愛]
岐阜県		
富山県		
石川県	産業事情（工芸・機械・米作・絹業）、結核対策 [北]	有畜農業の奨励状況 [北]
福井県		
三重県		
和歌山県	重工業の発展、(下問→) 事変後木材採増と造林の進展 [朝和]	10カ年継続の山林計画、(下問→) 帰県移民の南方進出 [朝和]
奈良県	橿原神宮・皇陵参拜路改修、水平運動状況、大和同志会解散 [朝奈]	林業・特殊産業（貝釘・人造真珠・蚊屋等）の状況 [朝奈]
滋賀県		稲作状況、米供出県実績、主要作物増産三カ年計画 [京]
京都府	七・七禁令の京都繊維織物産業に対する善後処置 [京]	美術工芸の保存、繊維業関係の整備統合（→下問） [京]
大阪府		
兵庫県	外国人の状況、避難入国のユダヤ人の指導取締 [神]	航空機工業の状況、青年学生向け航空教育・訓練 [神]
鳥取県	食糧増産の状況 [松]	
島根県	食糧増産の状況 [松]	県産物資の輸送問題、浜田港修築とその意義 [朝島]
岡山県	総合県力拡充運用の必要性、(下問→) 国家奉仕と和衷戮力 [合同]	臨海工業地帯造成、在来工業転換、無頼県実現、県民錬成 [合同]
広島県		
山口県		
香川県		
徳島県		
愛媛県	貯蓄徹底、食糧増産と節米・供出、商工業者の転業（→下問） [海]	鋳工業の現況、重要食料品、水産業、開戦以来の職域奉公 [海]
高知県		
福岡県		県農試で実施の米二期作状況、重要産業の石炭と鉄の状況 [福]
佐賀県		
長崎県		
熊本県		
大分県		
宮崎県	祖国振興隊活動、食糧・木炭・林産・水産増産 [鹿]	上代日向研究所設立、海軍志願増、陸軍徴兵成績、食糧増産 [鹿]
鹿児島県	神代三陵崇敬、霧島神宮参拝者増、水害復旧、食糧増産 [鹿]	増産、貯蓄、消費節約、馬増産報国団結成 [鹿]
沖縄県		

【表1-9】知事の地方事情奏上、下問に対する奉答（1943・1944年）

	1943年4月12日	1944年8月23日（書面提出）
北海道庁	農村・水産・地下資源・船腹問題	
青森県	冷害地克服、酪農法の採用、畑作増産 [河]	
岩手県	昨年豊漁・豊作について [河]	
宮城県	冷害地克服、米の豊作とその好影響、工業開発 [河]	
秋田県	拳県一致木材の生産と供出に努力 [河]	
山形県	米・木材の増産・供出について [河]	
福島県	石炭・電力状況、農林水産物の生産確保が課題 [河]	
栃木県		
群馬県		
茨城県		
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京府・都	重要産業の生産増強について [東朝]	
警視総監	帝都の防空施設・市民の訓練状況 [東朝]	
山梨県		
長野県		航空兵器増産、各種地下資源の飛躍的増強 [信]
新潟県	（下問→）遺家族援護により安んじて家業に励む [新愛]	
静岡県		
愛知県	軍需生産状況について（→下問） [中部]	
岐阜県		
富山県		
石川県	耕地改良事業の進行状況について [北]	工場疎開、罹災者受入、港湾施設 [北]
福井県		
三重県		
和歌山県	木造船による船腹増強（→下問）植林計画遂行中 [朝和]	
奈良県	旱魃対応、林業、観光地の聖地顕揚施設への切替 [朝奈]	旱魃対応、林業、県外労務提供、学童疎開 [朝奈]
滋賀県	米の生産供出、湖面低下 [京]	
京都府		未曾有の旱魃状況とその克服 [京]
大阪府	（下問→）青少年の体位改善、小工場での結核対策 [愛合]	
兵庫県	家庭燃料の生産・配給の状況 [神]（下問→）防空対策 [愛合]	
鳥取県		震災復興、軍需工業復興、供出目標達成、稲の作柄平年以上 [合同]
島根県		災害耕地の復興状況、水産業・林業・鉱業の努力 [合同]
岡山県	臨海工業地帯の進展、中小商工業再編に伴う転廃業 [合同]	県農民の食糧増産の熱意と努力の状況 [合同]
広島県	昨年8月の風水害の復旧状況・造船事業 [鹿]	
山口県	昨年8月の風水害の復旧状況・造船事業 [鹿]	
香川県	製塩業に蒸気利用、真空式等機械製塩法の好成績 [鹿]	旱害事情と農民の克服の努力、戦勝のための県民の奉公 [合同]
徳島県		
愛媛県	（下問→）漁業状況、銅山開発状況、県民体力、木材供出 [愛合]	
高知県	林産 [鹿]	
福岡県		
佐賀県	農業・労働力問題 [鹿]	
長崎県	製鉄・石炭・造船事業 [鹿]	
熊本県	農業・労働力問題 [鹿]	
大分県	木材供出・木造船工業 [鹿]	
宮崎県	林業・林産状況、戦時工業の状況 [鹿]	
鹿児島県	麦・米・甘藷増産状況、（下問→）青年学校状況 [鹿]	
沖縄県		

【表1-⑩】知事の地方事情奏上、下問に対する奉答（1945・1946年）

* [] を付したものは、下問と地方事情奏上の区別が明確でないもの。

	1946年2月25日	1946年6月15日	1946年10月30日
北海道庁			
青森県			
岩手県			
宮城県		亜炭の埋蔵量と燃料利用、米供出 [河]	
秋田県			
山形県			
福島県		一般農作状況 [神]	
栃木県			
群馬県			
茨城県		食糧生産県の供出状況 [神]	
千葉県			
埼玉県			
神奈川県			
東京都		都市の食糧事情 [神]	
警視總監			
山梨県			
長野県	食糧増産、米供出、資材調達上の問題、養蚕復興 [信]		
新潟県		肥料の生産状況 [中部]	
静岡県			
愛知県			
岐阜県	供出割当の実践状況	主食の増産と供出、(下問→) 堤防工事 [中部]	
富山県			
石川県	(下問→) 男女青年指導、総合大学設置 [北]		
福井県			
三重県			
和歌山県			
奈良県			
滋賀県			
京都府		京都市の食糧事情、(下問→) 丹後縮緬復興確信 [京]	(下問→) 阪神に扶まれ物資欠乏 [京]
大阪府			
兵庫県	神戸市の戦災復興、戦災援護方法 [神]		(下問→) 食糧事情、神戸港の貿易 [神]
鳥取県		一般農作状況 [神]	
島根県			[引揚者の状況 [合同]]
岡山県			[農村とくに農民運動について [合同]]
広島県			[広島・呉両市の復興状況 [合同]]
山口県		引揚邦人・復員者の援護状況 [神]	[引揚者の状況 [合同]]
香川県			
徳島県			
愛媛県		新居浜市の日新工業の肥料生産状況、(下問→) 瀬戸内水産業 [愛]	[教育界の現状、総合大学問題 [合同]]
高知県			
福岡県			
佐賀県			
長崎県		引揚邦人・復員者の援護状況 [神]	
熊本県			
大分県			
宮崎県			
鹿児島県			
沖縄県			

地方長官会議における昭和天皇の「下問」と知事の「地方事情奏上」

【表 2-①】昭和天皇の下問事項一覧 (1927・1928 年)

	1927 年 6 月 25 日	1928 年 6 月 20 日
北海道庁		
青森県		
岩手県		
宮城県	宮城県の近況、大演習で行かぬ所は残念だ [河]	治水問題が大変難しいそうだが近頃はどうか [河]
秋田県		石油は近頃は 1 年にどのくらい産出するか [河]
山形県		
福島県		
栃木県	(奥日光湯川の湯蝨の幼虫を採集して送れ) [海]	
群馬県		
茨城県		「水戸学の遺風は今尚存して居るや」 [京]
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京府		
警視總監		
山梨県		
長野県	「警廢事件の後はどうだ」 [信]	「長野県の思想の模様はどうか」 [信]
新潟県	信濃川水閘の破損状況、雪害、小作問題如何 [信]	
静岡県		
愛知県	「今秋大演習には色々厄介になるな」 [新愛]	
岐阜県		
富山県		
石川県	金沢大火の状況、雪害、織物業 [北]	石川県下の教育状況 [北]
福井県		
三重県		
和歌山県	「アメリカの移民法で、さぞ困つてゐるだらう」、産業 [朝紀]	
奈良県	小作争議・水平社運動について [朝大]	奈良県における古蹟保存状況について [朝大]
滋賀県	県下蚕業状況、食用蛙について [京]	近江商人気風、悠紀田、大典簡素化、琵琶湖小鮎 [京]
京都府	震災後の丹後は復旧したか [河]	
大阪府	(金融恐慌の)「影響及び商工業の現状」 [大朝]	
兵庫県		
鳥取県		
島根県	産業方面について [山]	山陰鉄道完通が島根県及ぼした影響は如何 [山]
岡山県	「昨年は色々手数をかけた、その後変りはないか」 [山陽]	
広島県		
山口県		
香川県		
徳島県		
愛媛県	新たに勃興している産業は如何、別紙銅山の状況は如何 [海]	県の産業状況はどうか [海]
高知県		
福岡県		一般工業の現状、倉田について [福] 鉱山地方の労働問題 [九朝]
佐賀県	昨年の大演習で行けず佐賀県民に気の毒、産業状態如何 [九朝]	
長崎県		
熊本県	「熊本県の教育事業はどうか」、水産原料とその改良 [九朝]	「過般の大風水害の罹災民の状況はどうか」 [福]
大分県	別府の地熱利用について [九朝]	
宮崎県	農産、林産その他一般の産業について [九朝]	
鹿児島県	水産その他について [九朝]、奄美大島・同島の動植物採集希望 [鹿]	「その後 (行幸後) の大島はどうか」 [九朝]
沖縄県		

【表2-②】昭和天皇の下問事項一覧（1929・1930年）

	1929年6月17日	1930年5月22日
北海道庁		
青森県	青森市の築港問題 [東朝]	
岩手県		
宮城県	産業組合の状況について [河]	
秋田県	小坂鉱山の状況 [東朝]	
山形県		
福島県		
栃木県		
群馬県		
茨城県	特別大演習の費用節約 [東朝]	
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京府	現在の東京市の状況 [東朝]	
警視總監		
山梨県		
長野県	普通教育の状況、青年訓練所成績、長野県民は口達者だが実行力に富む [信]	
新潟県	青年訓練所の成績 [東朝]	
静岡県		行幸で県民に余り負担をかけぬように [東朝]
愛知県	山東出兵隊の帰還後の状況 [新愛]	
岐阜県	「第三師団の帰還に就て軍隊と民衆との関係はどうか」 [新愛]	
富山県		
石川県	石川県の金融状態は如何 [北]	
福井県	織物の状態 [東朝]	
三重県		
和歌山県	「(行幸後の) 県下の民情はどうであるか」 [朝紀]	
奈良県	「奈良県の融和事業はどうなつてあるか」、青年団・処女団 [朝大]	
滋賀県	悠紀斎田跡はどうなったか [京]	
京都府	大礼後京都の模様如何 [京]	
大阪府		
兵庫県	県下青年団の状況について [神]	
鳥取県	「お前の方の治水事業はどうなつてあるか」 [朝山]	
島根県	実業教育の状況について [山]	
岡山県	済生顧問制度について [山陽]	
広島県	水産事業と金融 [山陽]	
山口県	福岡・山口にまたがる関門海峡の警察事務 [東朝]	
香川県	小作争議問題 [神]	
徳島県		
愛媛県	別子銅山の鉱夫生活状況 [神]	
高知県	二期作に付研究的質問 [東朝]	
福岡県	「県下の鉱業状態」 [九朝]	下問なし [九朝]
佐賀県		下問なし [九朝]
長崎県	「老岐対馬はどんなところであるか」 [九朝]	下問なし [九朝]
熊本県	「女子教育状態」 [九朝]	下問なし [九朝]
大分県	「県下産業一般の状態」 [九朝]	下問なし [九朝]
宮崎県	「宮崎県の農業状態」 [九朝]	下問なし [九朝]
鹿児島県	県の育英事業 [鹿]	下問なし [九朝]
沖縄県	「その後の財政復興は順調に進んであるか」 [九朝]	下問なし [九朝]

【表2-③】昭和天皇の下問事項一覧（1931・1932年）

	1931年5月2日	1932年7月20日
北海道庁		農村の窮状、北海道の羊毛について 東朝
青森県		
岩手県		
宮城県		
秋田県		
山形県		
福島県		
栃木県		
群馬県		
茨城県		
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京府		
警視總監		
山梨県		
長野県		
新潟県		
静岡県		「県下の状況は何うだ」 新愛
愛知県		「山崎（延吉）はどうしてゐる」と突然尋ねる 新愛
岐阜県		（不況でも納税成績が良好なことは）結構なことだ 新愛
富山県		
石川県		
福井県		
三重県		
和歌山県		
奈良県		
滋賀県		
京都府	（奏上→）編入町村民との融和状況、観光・商工の実情 京	
大阪府		「大阪は日支事変以来対支貿易上打撃を受けたであらう」 大朝
兵庫県		（奏上→）農漁山村自力更生運動に今後も努力せよ 神
鳥取県		
島根県		
岡山県		
広島県		
山口県		
香川県		
徳島県		
愛媛県		
高知県		
福岡県		
佐賀県		
長崎県		
熊本県	今秋の大演習では厄介になるが在りのままを見せてほしい 九朝	
大分県		
宮崎県		
鹿児島県		
沖縄県		

【表2-④】昭和天皇の下問事項一覧（1933・1934年）

	1933年4月21日	1934年5月3日
北海道庁		
青森県	三陸震災復興状態等、海嘯対策 [東朝]	
岩手県	三陸震災復興状態等 [東朝]	「青年の指導をしているそうだが」 [東朝]
宮城県	三陸震災被害の対策はどうか [河]	
秋田県		
山形県		
福島県		
栃木県		
群馬県		大演習で地方民の負担を少なく [東朝]
茨城県		
千葉県		「小作事情はどうである」 [東朝]
埼玉県		
神奈川県		
東京府		
警視總監		
山梨県		
長野県		
新潟県		
静岡県	沼津滞在中の皇太后の様子 [東朝]	
愛知県		
岐阜県		「山村の経済はどうすればよいか」 [新愛]
富山県		
石川県	医療救助事業に関して [北]	
福井県	大演習での県民負担加重は避けよ [北]	
三重県	伊勢神宮について [東朝]	赤潮の発生による真珠の被害状況はどうか [新愛]
和歌山県		
奈良県		
滋賀県		
京都府	西陣織の現状はどうか [京]	
大阪府	(奏上→) インドでの日本商品販売方法と内容 [大朝]	
兵庫県	「印度棉花問題は神戸港にどう響いてゐるか」 [神]	(奏上→) 但馬の雪害状況について [神]
鳥取県		
島根県		(奏上→) 富山村の村長は何というか [松]
岡山県		
広島県		
山口県		
香川県		
徳島県		
愛媛県		
高知県		
福岡県		
佐賀県		
長崎県		
熊本県		
大分県		
宮崎県		天孫降誕伝説地清浄化の進捗（閑院宮より） [鹿]
鹿児島県		
沖縄県	(振興施策の奏上に対し)「振興計画の成績はどうであるか」 [九朝]	

地方長官会議における昭和天皇の「下問」と知事の「地方事情奏上」

【表2-⑤】昭和天皇の下問事項一覧(1935・1936年)

	1935年5月3日	1936年6月15日
北海道庁	今年の稲作はどうか [東朝]	大演習で道民に負担かけぬよう [東朝]
青森県		
岩手県		東北振興会社に頼り過ぎ自力更生が薄らぐぬか [東朝]
宮城県		
秋田県		
山形県		
福島県		
栃木県		
群馬県	昨年大演習に相当費用がかかったか [東朝]	
茨城県		
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京府	「東京市政はどうなつてゐるか」 [東朝]	選挙はどうだったか、出動兵士の家族の状況 [東朝]
警視總監		
山梨県		
長野県	「教育界の状態は如何」 [信]	
新潟県		
静岡県		
愛知県		
岐阜県		
富山県		
石川県	「宗教心の県民に対する影響は如何」 [北]	
福井県	「其の後の衛生状態はどうか」 [河] [北]	
三重県		「伊勢神宮の参拝者は増えたか」 [東朝]
和歌山県	「和歌山県の柑橘の状況はどうか」 [朝和]	
奈良県		
滋賀県		
京都府	風水害復旧、神社仏閣復興状況並びに産業状況 [京]	大本教検挙の一般の宗教信仰心への影響は [京]
大阪府	大工場の風水害被害、朝鮮人の生活状態 [大朝]	
兵庫県		
鳥取県		
島根県		
岡山県		
広島県		
山口県		
香川県		
徳島県		
愛媛県	下問なし [海]	(農山漁村の更生振興状態) [海]
高知県		
福岡県		
佐賀県		
長崎県		
熊本県	水稻の晩化状態 [北]	
大分県		
宮崎県		昨年の行幸での県民重負担有無 [鹿]
鹿児島県	今秋の大演習ではなるべく県民に負担をかけるな [九朝]	昨年の大演習で負担をかけたはしなかったか [鹿]
沖縄県	「県民の体格はその後どうか」 [九朝]	

【表 2-⑥】昭和天皇の下問事項一覧（1937・1938 年）

	1937 年 5 月 17 日	1938 年 5 月 2 日（東北常食賜餐）
北海道庁		
青森県		
岩手県		
宮城県		町村吏員不足を補充する方法はないか [河]
秋田県		
山形県		
福島県		（奏上→）町村吏員不足の補充策如何 [河]
栃木県		
群馬県		繭価下落の県民生計への影響 [福日]
茨城県		
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京府	東京市政の監督について [東朝]	物価騰貴と市民・中小商工業者の生活 [東朝]
警視總監	管内治安上取締りはどうなっているか [東朝]	
山梨県		
長野県	「県民の思想傾向はどうか」 [信]	
新潟県		
静岡県		
愛知県		羊毛輸入制限に伴う毛織物工業の状況について [九朝] [新愛]
岐阜県		（奏上→）〇〇部隊戦死傷者少なさの県民影響 [新愛]
富山県		出征兵送出後の労力不足はないか [東朝]
石川県	県民の健康状態について [北]	
福井県		
三重県	大演習での県民負担を出来る限り軽減せよ [新愛]	
和歌山県		「和歌山県の民有林はどうなつてゐるか」 [朝和]
奈良県		（奏上→）中等学校入試廃止の結果 [朝奈]
滋賀県		
京都府		風水害の復旧状態はどうか [京]
大阪府	青年学校の状況はどうか [大朝]	大阪の紡績について [大朝]
兵庫県	工業発達に伴う労働問題は如何なる状態か [神]	
鳥取県		
島根県		
岡山県		
広島県		
山口県		
香川県		
徳島県		
愛媛県		
高知県		凱旋した出征兵の帰還後の様子は [東朝]
福岡県		「防空施設についていかやうにやつてゐるか」 [九朝]
佐賀県		
長崎県		
熊本県		
大分県		
宮崎県		
鹿児島県		県下島嶼の振興状況について [九朝]
沖縄県		沖縄振興計画について [九朝]

地方長官会議における昭和天皇の「下問」と知事の「地方事情奏上」

【表2-⑦】昭和天皇の下問事項一覧（1939・1940年）

	1939年5月2日	1940年5月2日
北海道庁	「北洋漁業の状況はどうか」 [北]	「パルプ資材将来における資源確保について考えているか」 [神]
青森県	八戸港の将来はどうか [北]	「県民の衛生状態はどうか」 [神]
岩手県		「木炭の搬出状況はどうか」 [神]
宮城県		「今年は宮城県の米の出来がよいやうだがどうか」 [神]
秋田県	1日午後の震災被害 [北]	
山形県		「肥料は差支へなく十分に行つてゐるか」 [神]
福島県	県下工業方面の近況 [神]	
栃木県		
群馬県	原料自給に困難する織物について [北]	
茨城県		麦作状況（旱天憂慮） [神]
千葉県		「砂鉄事業は採算がとれるか」 [神]
埼玉県	「労働力に不足はないか」 [東朝]	麦作状況（旱天被害憂慮） [神]
神奈川県	軍需工業躍進に伴う県財政の状態 [東朝]	銃後戦士たる労務者の生活・風紀問題 [新愛]
東京府	殷賑産業従事者の思想・生活状態 [北]	
警視総監		「事変下殷賑産業の青少年生活に及ぼす影響はどうか」 [神]
山梨県		
長野県		「山村の保護開発は如何様である」 [信]
新潟県	「労働力に不足はないか」 [東朝]	
静岡県		
愛知県	「養鶏などについてはどうか」 [新愛]	養鶏の状況 [新愛]
岐阜県		
富山県		水力電気はどうか [北]
石川県		「石川県の健康状態は如何」 [北]
福井県		
三重県		
和歌山県		
奈良県		
滋賀県		
京都府	（奏上→）武漢陥落と景気向上の関連如何 [京]	今度の行幸は諸事簡素にするように [京]
大阪府	職工の衛生状態 [大朝]	工場労務者の風紀の点はどうか [大朝]
兵庫県		「神戸港の貿易状況はどうか」 [神]
鳥取県	県下の産業と県財政状態について [北]	
島根県		
岡山県		（奏上→）（米供出に関連して）「労力不足はないか」 [合同]
広島県		
山口県		
香川県	塩業の状態はどうか [北]	
徳島県	納税成績 [神]	
愛媛県	（県状について） [海]	軍人援護事業特に遺家族に対する状況 [海]
高知県	農産物の促成栽培について [北]	
福岡県		「石炭の増産についてはどうしてゐるか」 [神]
佐賀県		
長崎県		
熊本県		稲作の出来栄え（旱天被害憂慮） [神]
大分県		供出米の状況はどうか [神]
宮崎県		
鹿児島県	奄美大島の島々はどうか [鹿]	木炭の増産で濫伐に陥る惧れはないか [鹿]
沖縄県		県産海綿の質はどうか [新愛]

【表2-⑧】昭和天皇の下問事項一覧（1941・1942年）

	1941年4月8日	1942年月3日3日
北海道庁	炭山の経営はどうか 神	
青森県	翼賛運動の実情はどうか 神	
岩手県	無医村の状況はどうか 神	
宮城県	貯蓄運動及び水産状況について 河	「冷害によつて米の実収高はどの位になつたか」 河
秋田県	米穀状態はどうか 神	
山形県		県民の保健状態はどうか 東朝
福島県	猪苗代湖の湖面低下の状況はどうか 神	
栃木県	麻の状況はどうか 新愛	木炭供出努力は結構だが植林はどうか 北
群馬県		
茨城県		
千葉県	甘藷生産状況 新愛	
埼玉県	麦産状況 新愛	麦の作柄について 東朝
神奈川県	工場が出来て地方財政は好影響を受けたか、農漁村はどうか 神	
東京府		島嶼方面は食糧に困っているか 東朝
警視総監	思想運動の取締り状況はどうか 神	東京府民の日常生活・経済生活 東朝
山梨県		県下の蚕業状況 北
長野県	「戦時下養蚕業の状況はどうか」 信	（奏上→）桑園跡作の栽培状況は 信
新潟県		天然ガス容器は充分入手できるか、春肥手配は充分か 北
静岡県		
愛知県	陶磁器の状態はどうか（→側近に申上げると回答） 新愛	「今度の総選挙に対する県民の心構へはどうか」 新愛
岐阜県	木炭の状況 新愛	
富山県	「最近における工業発展の状態はどうであるか」 北	県下国民保健の状態 北
石川県	「九谷焼や金箔業者は時局で困つてゐはしないか」 北	「石川県は工芸が多いが転業はどうなつてゐるか」 北
福井県	軍事援護・傷痍軍人 新愛	
三重県	水産業 新愛	
和歌山県	「和歌山県の山林はどうか」 朝和	「移民たちはどうしてゐるか」 朝和
奈良県		「奈良県の西瓜はどうなつてゐるか」 朝奈
滋賀県		
京都府		（奏上→）衣料切符制の影響はどうか 京
大阪府	中小商工業者の状況はどうか 大朝	食糧事情・朝鮮人労働者の状況はどうか 大朝
兵庫県	「神戸港の第三国貿易状況はどうなつてゐるか」 神	石炭の配給状況は如何、麦の発育状態は如何 神
鳥取県		
島根県	「軍事援護は各県同様よくやつてゐるか」 松	「山林伐採跡地の管理を如何にするか」 朝山
岡山県	大政翼賛運動の県民の心構え 合同	「米の増産と藎草との関係について」 合同
広島県		
山口県	水産業 新愛	
香川県		
徳島県		
愛媛県	（県経済・県民生活状況奏上→）麦作状況はどうか 海	麦の作柄について 海
高知県		
福岡県		
佐賀県		
長崎県		
熊本県		
大分県		
宮崎県		蕎麦に関して 鹿
鹿児島県	「傷痍軍人に対する措置はよく行つてゐるか」 鹿	「奄美大島の状況はどうか」 鹿
沖縄県		

【表2-9】昭和天皇の下問事項一覧（1942・1946年2月）

1943年4月12日		44	1946年2月25日（茶葉下賜）
北海道庁	県下に離島が多いが [東朝]	「戦局危急皇国ノ興廢繫ソテ今日ニ在リ一層奮勵精衆ヲ率井官民一体戦カヲ物心両面ニ充実シ以テ皇運ヲ扶翼スヘシ」	石炭増産状況 [合同]
青森県			
岩手県	木炭の生産の状況について [河]		
宮城県	軍人遺家族援護施設に遺漏なきか [河]		農村状況 [合同]
秋田県	「伐採後の植林はどうなつてゐるか」 [河]		
山形県	満州開拓民の状況はどうか [河]		青年男女の指導 [合同]
福島県	桑園の整理ならびにその跡作はどうか [河]		
栃木県	国民学校修了生はどういう方面に行くか [東朝]		
群馬県	機業養蚕状況 [東朝]		
茨城県			
千葉県	監視所の状況 [東朝]		
埼玉県	貯蓄状況 [東朝]		
神奈川県	工場労務者の健康状況 [東朝]		県下下行幸に関する一般民情について [合同]
東京府・都	転廃業者の実情 [東朝]		
警視總監	帝都の治安状況 [東朝]		
山梨県	山林伐採後の植林状況 [東朝]		
長野県	満州開拓民の状況 [河北]		農村状況 [信]
新潟県	「軍人遺家族は困つてゐないか」 [東朝]		
静岡県	「県下に山火事が多かつたが植林の方はどうか」 [東朝]		
愛知県	（奏上→）軍需増産に付随する食糧増産はどうか [中部]		戦災都市の復興、戦災援護の状況 [合同]
岐阜県	岐阜県は山地が多いが山地住民の生活状況はどうか [鹿兒]		
富山県	満州移民の状況、麦作の状況 [信]		
石川県	県民の貯蓄状況 [北]		青年男女の指導について [北]
福井県			
三重県	水産業の状況について [東朝]		
和歌山県	「相当多量の木材を伐採してゐるか跡地の植林はどうか」 [朝和]		
奈良県	木材の伐採とその後の植林 [朝奈]		
滋賀県	米の供出、湖面低下問題/魚類の繁殖・舟運 [東朝]		
京都府			
大阪府	銃後の青少年、産業戦士の体格・健康はどうか [愛合]		戦災都市の復興、戦災援護の状況 [合同]
兵庫県	防空の状況はどうか [神]		戦災都市の復興、戦災援護の状況 [合同]
鳥取県	軍人遺家族の状況 [東朝]		
島根県	水産業の現況について [朝山]		
岡山県	本年度の麦の作柄 [合同]		青年男女の指導 [合同]
広島県			復員軍人・外地引揚民の援護状況 [合同]
山口県	麦の作柄 [東朝]		
香川県	工場労務者の健康状況 [東朝]		
徳島県			農村状況 [合同]
愛媛県	漁業状況と漁業者の生活及び士気の状況 [海]		
高知県	軍人援護状況 [東朝]		
福岡県	米麦三毛作と耕地の二期作との違い [東朝]	石炭増産状況 [合同]	
佐賀県	農家の副業 [東朝]		
長崎県	県下に離島が多いが [東朝]		
熊本県	麦の作柄 [東朝]		
大分県	山林伐採後の植林状況 [東朝]		
宮崎県			
鹿児島県	青年学校はよいそうだがどうか [鹿兒]	復員軍人・外地引揚民の援護状況 [合同]	
沖縄県	孤島の食糧 [東朝]		

【表2-⑩】昭和天皇の下問（1946年） * [] を付したものは、下問・地方事情奏上の区別が明確でないもの。

	1946年6月15日	1946年10月30日（一同に※）
北海道庁		[石炭生産状況 [北]]
青森県		[青森港の現状 [北]]
岩手県		
宮城県		[亜炭利用、漁業状況 [北]]
秋田県		[米作状況 [北]]
山形県		[果実の状況 [北]]
福島県		[酵素の農業への利用 [北]]
栃木県		
群馬県		
茨城県		
千葉県		
埼玉県		
神奈川県		
東京都		[ゼネスト問題 [北]]
警視総監		
山梨県		新憲法を県民はいかに考えてゐるか [北 海]
長野県		蚕糸業の現状について [信]
新潟県		早場米の供出状況 [北]
静岡県		
愛知県		
岐阜県	(奏上→) 河川堤防決壊による増産への影響はないか [中部]	
富山県		供米、農民の組合運動 [中部]
石川県		
福井県		
三重県		都市の復興状況 [中部]
和歌山県		
奈良県		
滋賀県	河川統制と湖面低下はどうなっているか [京]	
京都府	特産の丹後機業はどうか [京]	[京都ではさぞ物価が高いだらうね] [京]
大阪府		[畜産奨励、食糧・石炭の欠乏状況 [中部]]
兵庫県		食糧事情、神戸港の貿易状況は [神]
鳥取県	天災・困窮にも拘らず100%供出は結構だ [大朝]	
島根県		[引揚者の状況 [合同]]
岡山県		[農村とくに農民運動について [合同]]
広島県		[広島・呉両市の復興状況 [合同]]
山口県		[引揚者の状況 [合同]]
香川県		[青年の動向、教育者の問題、農民運動 [合同]]
徳島県		
愛媛県	瀬戸内海沿岸の水産業はどうか [海]	[教育界の現状、文化県として希求する総合大学問題 [海]]
高知県		
福岡県		[引揚者と石炭状況 [中部]]
佐賀県		
長崎県		
熊本県		[米作と供出 [中部]]
大分県		[農作物の供出 [中部]]
宮崎県		
鹿児島県		[木害、桜島噴火被害状況 [北]]
沖縄県		

地方長官会議における昭和天皇の「下問」と知事の「地方事情奏上」